

【政治】

16 日～19 日：全人代遼寧省代表、大連市に対する視察を実施

16 日～19 日、全人代遼寧省代表視察チームが大連市の第 12 次 5 カ年計画実施状況及び第 13 次 5 カ年計画起草状況、戦略的新興産業の発展状況に対する視察を行った。
(21 日付大連日報 1 面)

20 日：唐軍書記・肖盛峰市長、省党委常務委員会にて金普新区の発展状況を報告

20 日、唐軍書記、肖盛峰市長は遼寧省党委常務委員会議に参加し、金普新区の開発・建設状況に関する報告を行った。会議は金普新区が収めた段階的な成功を評価し、金普新区の設立は党中央、国務院が東北地区の開放の深化及び東北老工業基地の振興のために行った戦略的決断であり、遼寧省の振興・発展を促進するために重大なプラットフォームとチャンスを提供したと強調した。
(24 日付半島晨报 A09 面)

22 日：唐軍書記、市内各地において安全生産に関する検査を実施

22 日、唐軍書記ら市幹部は、市内の石油や燃料を扱う企業等を訪れ、安全生産活動に対する検査を行った。(23 日付大連日報 1 面)

23 日：民政部の顧朝曦副部長、大連市の民政政策に対する調査・研究活動を実施

23 日、民政部の顧朝曦副部長が大連市を訪れ、同市の社会政策に従事する専門人材育成等の民政政策に対する調査・研究活動を行った。同副部長はさらに座談会を開催し、施策の進捗状況報告に対する聞き取りを行った。唐軍書記ら市幹部が同活動に参加した。同副部長はさらに肖盛峰市長と会見を行った。(24 日付半島晨报 A09 面)

23 日：金普新区党政聯席会議開催、普蘭店市の市から区への移行に関し議論

23 日、金普新区党工作委員会、同管理委員会の主催により金普新区党政聯席会議が開催され、普蘭店市の市から区への移行の進捗状況に対する報告を行った。代理管理にかかる経費と重複行政による弊害を無くすため、大連市は 2008 年から普蘭店市を正式に大連市の一部とするための申請を数度に亘り国務院に対し行ってきており、今年 10 月 13 日に当該申請が許可されていた。
(25 日付半島晨报 A07 面)

24 日：唐軍書記・肖盛峰市長、“次世代のことを考える工作会議”に出席

24 日、唐軍書記、肖盛峰市長ら市幹部は「次世代のことを考える工作会議」に出席し、習近平国家主席の同工作に対する重要指示の精神及び同工作関連委員会の成立 25 周年記念大会の精神を学習し、大連市における同工作関連施策に関する指示を行った。(25 日付半島晨报 A09 面)

25日：唐軍書記・肖盛峰市長、鞍鋼集团公司の張広寧董事長と会見

25日、唐軍書記、肖盛峰市長は鞍鋼集团公司の張広寧董事長一行と会見した。大連市と同社は今年8月、環境問題に対する考慮から、大連市内にある同社の石灰石採掘場2カ所を段階的に閉鎖することに合意に達していた。(26日付大連日報1面)

25日：市政府、来年度のインフラ建設に関するテーマ会議を開催

25日、市政府はテーマ会議を開催し、2016年度の都市部・農村部における重大インフラ建設プロジェクトに関する報告に対する聞き取りを行い、関連の施策に関する研究・指示を行った。肖盛峰市長ら市幹部が会議に参加した。(26日付大連日報1面)

26日：第9回市党委「改革を全面的に深化させる」指導者小組会議開催

26日、唐軍書記の主宰により、第9回市党委「改革を全面的に深化させる」指導者小組会議が開催された。会議では「大連市の戸籍制度改革を更に推進させるための工作法案」、「大連市の国有文化資産の監督管理体制を更に完全なものにするための通知」、「大連市紀律検査体制の改革実施法案」について審議・採択を行った。(27日付半島晨报A12面)

26日：市党委常務委員会議開催、金普新区の建設・発展強化に関し議論

26日、市党委常務委員会議が開催され、省党委常務委員会議の精神を伝え、金普新区の建設・開発強化という重要任務に対する研究・指示を行った。会議はまた遼寧省党委が採決した党の基礎組織建設に関する決定を大連市において着実に実行に移していくための実施案を審議・採択した。(27日付半島晨报A12面)

市政府、一部市指導者の業務分担変更に関する通知を発表

先日、市政府は公式サイトにて一部市指導者の業務分担変更に関する通知を発表した。当該通知によれば、曹愛華常務副市長が担当していた金融センター建設及びその関連業務は、今後洪登金副市長によって行われることとなった。洪副市長は市党委金融工作委員会の書記を兼任し、市金融局や銀行、保険会社、証券会社等の管理を行う。(27日付半島晨报A07面)

【経済】

24日：肖盛峰市長、「漢徳工業促進資本」の蔡洪平主席と会見

24日、肖盛峰市長は「漢徳工業促進資本」の蔡洪平主席一行と会見し、双方は協力関係の強化等の問題に対して意見を交換した。同社は李克強総理とメルケル首相が署名した「中独合作行動綱領」を指針として設立され、「中国製造2025」計画と「ドイツ工業4.0」計画をドッキングさせるための取り組みを行ってきた(当事務所注：「徳」は中国語で「ドイツ」を意味する)。(25日付半島晨报A09面)

【社会・文化】

瀋陽鉄道局、新たな列車ダイヤを発表

瀋陽鐵路局が行ったダイヤ改正に基づき、来年1月10日から大連発着列車に以下のような変化が加わることとなった。

- 大連北—山海関便を新たに開設
- 従来の大連—ハルビンT261/2便の終着・始発駅を牡丹江まで延長

(26日付大連日報1面)

【日本関連報道】

20日：抗日戦争勝利70周年を記念した大型写真巡回展がスタート

20日、遼寧省党委党史研究室及び大連市文化広播影視管理局が主催し、遼寧省党委党史宣伝教育センター、遼寧省城郷経済・社会発展研究センター、大連市群衆芸術館が開催を請け負う抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利70周年を記念した大型写真巡回展が、大連市群衆芸術館1階の「群星展厅」にて開幕した。同展覧では数百点余りの歴史的意義を有する写真が展示されている。当該展覧は15日間に亘り行われる予定。(21日付大連日報1面)

21日：肖盛峰市長、北九州市代表团一行と会見

21日、北橋健治市長率いる北九州市代表团が大連を訪れ、肖盛峰市長と会見を行った。会見上、肖盛峰市長は北九州市は大連にとって最初の国際友好都市であり、両市には36年に亘る頻繁な交流があり、多くの分野において成果の著しい協力関係を展開し、特に環境保護の分野において北九州市は大連市に大きな援助を与えたと評価した。これに対し北橋健治市長は、北九州市は大連市との間で築き上げた友好協力関係を非常に重視しており、今後も民間交流を促進するためチャーター機による相互訪問活動を再スタートさせる予定であると述べ、これを契機として両市の友好協力関係の更なる発展を推進していきたいと述べた。(22日付大連日報1面)

(注) 11月21日～11月27日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。